

令和4年度 珠洲市立蛸島小学校 中期 学力向上プラン
 プラン名 考えや理由を書き表すときの表現力を身につけよう (70%)

1 授業づくり

(1) 現状・課題 (R)

12か条+(プラス)
5条・4条

課題	現状 (科学的データ)
自分の考えを相手に伝えるように表現する力が弱い。	・学力調査 (令和4年1学期実施) 4年 県2-③ 条件となっている文章中の言葉を使わずに、意味が伝わりにくい文章を書いている。(0%) 5年 市 筆者の伝えたいことが書かれている文が分からない。 登場人物の気持ちの理由が分からない。 6年全国1四 立場を明確に捉えきれず、二つの立場の文章が混在している。(83.3%) 3二 助詞がうまく使いこなせていない。(50%) ・R4前期プラン「適切に表現する(書く・話す)ためのポイントを身につけよう」 ノートチェック 59%, 授業検証シート 92%, 児童アンケート 77%, 検証テスト 62% [要因] ○課題に対するまとめを書く場面で、主語・述語を意識して書く児童が増えてきた。 △考えを書く時の根拠や言葉の係り方を意識し、文章を組み立てる力が弱い。 △文章の内容や主題を的確に捉える力が弱い。 →教師: 指示語の示す内容を確認したり、接続詞から文章の構成を捉えたりする指導が不足。 児童: 書いたことを読み直すポイントが定まっていない。

(2) 計画と実行 (P D)

中期目標	具体的取組	評価(結果)	目標の達成
問われていることに対し、根拠や理由を明確にして自分の考えを表現することができる。	○根拠や理由を問う発問や指示語が示す内容を問う発問を複数用意しておく。(教師) ・どこに書いてあった? ・どこからそう考えた? ・どのような表現法がいい? ○読み直す時のポイント(理由は「～から」を使って表す)を示す。(教師) ○理由や根拠となる文や、指示語が示す内容に線を引く。(児童)		
検証項目			
・授業参観シート 教師「理由や根拠を問う場面を設定し、内容や表現法、根拠を明らかにする問い返しを行う。」 児童「文や言葉を根拠にして、理由を書く(言う)ことができる。」(70%) ・ノートチェック「相手に伝わる文で書き(言い)表すことができる。」 (70%・24/34人) ・児童アンケート「理由を明確にして、相手に伝わる文が書けた。」(70%・24/34人) ・検証テスト 文章問題で理由や根拠を入れ、書き表している児童の割合 (60%・20/34人)		% % % %	% % % %

(3) 検証と改善策 (C A)

月	評価項目 (誰が, いつ)	結果	改善策
9	<input type="checkbox"/> 授業参観シート (参観者, 4週) <input type="checkbox"/> ノートチェック (学担, 4週) <input type="checkbox"/> 児童アンケート (学担, 4週) <input type="checkbox"/> 検証テスト (学担, 4週)	% % % %	
10	<input type="checkbox"/> 授業参観シート (参観者, 4週) <input type="checkbox"/> ノートチェック (学担, 4週) <input type="checkbox"/> 児童アンケート (学担, 4週) <input type="checkbox"/> 検証テスト (学担, 4週)	% % % %	
11	<input type="checkbox"/> 授業参観シート (参観者, 4週) <input type="checkbox"/> ノートチェック (学担, 4週) <input type="checkbox"/> 児童アンケート (学担, 4週) <input type="checkbox"/> 検証テスト (学担, 4週)	% % % %	
12	<input type="checkbox"/> ノートチェック (学担, 3週) <input type="checkbox"/> 児童アンケート (学担, 3週) <input type="checkbox"/> 検証テスト (学担, 3週)	% % %	

2 基盤づくり

中期目標	具体的取組	評価
・落ち着いた学習に向かう姿勢をつくる。	・休み時間に学習の準備をし、バースタートをする。 (児童アンケートで振り返る。90%以上)	

△適切な表現からつけたい力を絞る。キーワード・書き出し・文末・根拠・文の構造などの中から1つ絞る。絞った視点で検証をしていく。そうすれば検証も絞ることができる。例えば「根拠」に絞ると、表現に必要なものが入っているかの検証になる。

△深める場面での取り組みをメインにする。理由を入れることが目的になる。「理由はそれでいい？」
「ほかの理由はない？」と子と先生でもんでいく。理由を求めているから「から」が必要になるということを児童に理解させていく。「から」と理由はセット！

△整理会では、プランの取り組み内容をメインに考えていく。具体的取組ができていたか。効果があったか・ねらいの達成を始めに話し合う。

△表現に繋がる問い返しをプランに載せていく。